

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 13日

事業所名 すてつぷ天久1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	・運動等、広いスペースが必要な際、事業所前の公園を使用している。	・利用児童が増えた際のクールダウンスペースの確保を検討していく。
	2	職員の配置数は適切である	5		・学年が幅広い為、活動内容次第で、グループを分け対応している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	・入室した際に、分りやすい様に手順を視覚化している。	・入り口が狭く、車椅子の入室が出来ないので、入室出来る様な工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・毎日の掃除や、各フロアに空気清浄機を設置しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・毎日の朝礼や終礼等で情報共有を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・職員の情報の共有。各職員へ担当制を実施し、取りまとめて改善に繋げている。	・保護者様からの情報を基に職員間での情報共有を行い、不安や悩み等を改善できる様にしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	・保護者様へ、活動内容が分かる様に、日課表をプリントして配布しています。	・今後、インターネットでの写真公開などを増やしていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・第三者委員会の設立を、取り組んでいきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・虐待防止、身体拘束の適正化、ハラスメントの研修を実施しています。	・児童の特性や疾患の再確認の為、勉強会を実施。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・定期的にモニタリングやアセスメントを実施し計画書を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・関係機関のツールを抜粋し、実施している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・児童の特性を常に職員間で話し合い、連携を計って計画を作成している。	・職員間での意見交換や、社会資源を活用し、内容を拡充していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・毎日の支援からアセスメントを実施し、支援を展開していきます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・職員全体で、会議し翌月のプログラムを作成している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・季節の行事を取り入れながら、制作・運動・療育と偏りがない様に、全体で話し合っている。	・各月の担当者を決め、事務所内に掲示し、交代制でイベントに取り組んでいる。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・利用者様の特性や、発達の状況をふまえて作成している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・職員間での情報共有(前日の振り返り、各児童の特性の再確認)を実施しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・職員間での情報共有(当日の振り返り、各児童の特性の再確認)を実施しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・毎日の児童の様子を記録し、職員間での共有をおこない検証・改善に繋げている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・担当の職員だけでなく、職員同士での話し合いを行い判断している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・管理者・児発管・担当の職員が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・事例困難な場合にはアドバイスをいただいております。	・連携が不十分な点もある為、今後情報収集し連携していきたいと思います。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・医療的ケアが必要な利用児童様はいらっしゃいません。	・医療的ケアが必要な利用児童様はいらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	・医療的ケアが必要な利用児童様はいらっしゃいません。	・医療的ケアが必要な利用児童様はいらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・電話連絡や、保育所等へ訪問し、実施。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・電話連絡や、小学校・中学校等へ訪問し、実施。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・事例困難な場合にはアドバイスをいただいております。	・連携が不十分な点もある為、今後情報収集し連携していきたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2	・夏休みの期間等で実施予定。	・交流が持てるよう連携していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4	・担当者と助言を頂いています。	・連携は不十分である為、今後情報収集し連携していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎時に保護者と学校での様子や当所での様子を情報共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1		・未実施の為、今後改善していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約の際に、時間をかけて説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・保護者様に説明を行いながら、確認して頂き同意を得ています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・相談内容によって、関係機関と連携を取り合いながら、保護者様と解決に向けて取り組んでいます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		・今後、夏休み期間中等を利用して実施出来ればと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・相談内容によって、関係機関と連携を取り合いながら、保護者様と解決に向けて取り組んでいます。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・月の日課表や、活動中の様子の写真を配布。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・インターネットでの写真掲載の際に、写真私用承諾書にサインを頂き掲載しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・特性を考慮し、絵カード使用やホワイトボードを使って主に資格での誘導を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	・職員間で内容を検討し、実施予定。	・今後、情報収集をし取り組む様にする。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・保護者様への周知を拡充していきます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・当所は、3月と10月に避難訓練を実施しています。	・火災・地震・津波を想定しての避難訓練を実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのどもの状況を確認している	5		・保護者と情報共有を行い、座薬を常備し発作の際の対応を全職員で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		・医師の指示書ではなく、保護者からの情報で対応をしている。	・アレルギーがある利用児童様のリストを作成し掲載・定期的な確認を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・職員の目につきやすい場所へ設置しています。	・ヒヤリハットに該当する事案が発生してしまった際は、職員全体での課題として緊急に話し合いを行い改善していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・虐待防止委員会を設立しており、研修も行っていきます。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・現在、拘束が必要な利用児童様はおりません。	・拘束対象の児童様が契約された場合は、保護者様・利用児童様に十分な説明と了解を得た上で、支援計画書に記載し、対応致します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。